

「おやまF1評定」～語れば未来が見えてくる～

梅雨明けの青空の中、令和2年8月1日（土）小山市男女共同参画センターで「おやまF1評定」の第1回が開かれました。F1（エフワン）とは、マーケティング用語のF1層のことで、20～34歳の女性（Female）を指し、この層は流行に敏感でキャリアアップや子育てにも熱心とされています。小山市では市内在住・通勤・通学の40歳代までを公募し、女性16名が委員に選ばれています。これは、市が今年度策定する男女共同参画基本計画と女性活躍推進計画に、女性ならではの視点を反映させるため、10月までに計4回実施し、参加者に市政への提案をまとめてもらうことが目的です。



座長に桑島英理佳さん（桜の聖母短期大学地域連携センター生涯学習センター研究員）を迎え、会議の趣旨や展開について説明していただきました。会議では、4つのテーマを設定し、4グループに分かれ、（※）ワールドカフェ方式でテーマに沿った意見交換が展開されました。テーマ別に模造紙に各人の意見を集約していきました。主な意見は、次のとおりです。

テーマ	主な意見や提案
①地域活動・協働まちづくり	・国際交流をもっと盛んに！ ・ゴミの分別を動画や多言語で表示
②子育て・教育	・学校の先生の負担が大きすぎるのでは？ ・子育てに地域の多世代の支援を！
③男女共同参画・女性活躍推進	・女性が月1回美容院に行ける時間と収入があるまちにしたい ・男性の育児休業を取りやすく
④ワーク・ライフ・バランス	・家族そろって夕食を食べられない現実 ・大人が輝かないと子どもも輝かない！

他にもたくさんの意見が寄せられました。今後も活発な意見交換が予想され、小山市の未来に明るさと希望を感じる1回目となりました。



（※）ワールドカフェとは、新たな発見やアイデアは会議室ではなくカフェのような雰囲気や空間で生まれるという考えのもと開発された話し合いの手法です。今回は、4人ずつ4組のグループに分かれ、自己紹介とアイスブレイク（自分のお薦めのお店などを紹介）から始まり、ホスト役と旅人を決め、それぞれのグループのテーマで話し合いが行われました。